

聖徳大学大学院 通信教育課程 児童学研究科

博士前期課程／博士後期課程

アイコン表示内容

-  科目終了試験予定
-  本学ピアノレッスン
及び試験予定
-  地方ピアノレッスン
及び試験予定
-  その他の予定

4月		月	火	水	木	金	土
3/29	3/30  受付開始 (5/10分)	3/31	1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10  受付締切 (5/10分)	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	5/1  レポート締切 (7/5分)	5/2	

5月		月	火	水	木	金	土
4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	1  レポート締切 (7/5分)	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10  試験日	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22  レポート締切 (8/2分)	23	
24/31	25  受付開始 (7/5日分)	26	27	28	29	30	

お知らせ

閉講科目について

次の科目は2009年度開講いたしません。

- 「保育環境特論」
- 「児童・家族関係論演習」
- 「乳児保育特論」

大学院学習アドバイザーについて

学習相談、その他履修や論文などに関する相談について、大学院アドバイザー制度を設けています。質問票などを通して相談してください。

担当科目	アドバイザー名 (敬称略)
児童教育学	古橋 和夫
児童発達学	鈴木 由美
保 育 学	小玉 武俊

修士論文面接指導の申込みについて

修士論文の面接指導を希望する学生は、「修士論文面接指導申込書」(「履修と研究の手引」巻末、用紙綴)を提出してください。FAXでの申込みも受付けています。

※申込みから指導希望日までには余裕をもってお申込みください。

面接指導申込書を通信教育学務課に提出する前に、指導教員から指導を受けた場合(メール指導を含む)、後日でもかまいませんので、面接指導申込書(〇月〇日に指導していただきました。とお書きください)を必ず提出してください。

長期履修学生制度について

本研究科では、博士前期課程(通信教育)において長期履修学生を認めています。これは、修業年限を越えて、一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、修了することを目的として規定しており、割安な学費が適用されます。

長期履修学生の履修期間は、3年(2.5年を含む)、4年(3.5年を含む)、5年(4.5年を含む)となっております。この期間内の変更は認めております。**(ただし、2年間での修了は不可です。)**期間変更の手続きについては、「履修と研究の手引」をご覧ください。通信教育学務課にご連絡ください。

なお、長期履修学生については、**出願時に願い出た方のみ**が対象となります。入学後の申込みはできません。

2009年度レポート添削依頼日程(予定)

通信教育部では、月に1度の頻度で院生より提出されたレポートをとりまとめ、担当教員に添削を依頼しています。

以下は2009年度のレポート締切日です。(締切日必着)

3月 6日(金)	3月27日(金)	5月 1日(金)	5月22日(金)	6月19日(金)	7月24日(金)
8月28日(金)	10月 2日(金)	10月30日(金)	12月 4日(金)	1月15日(金)	2月12日(金)

※レポートとりまとめ日から返却までは1ヶ月~1ヶ月半を目安にしてください。



新入生連絡事項(博士前期課程)

重要 研究分野調査

指導教員の決定にあたり「履修と研究の手引」[研究分野調査]〈様式2〉を提出してください。指導教員は、第3希望まで記入してください。

提出期限：2009年5月8日(金)必着

重要 科目・課程登録について

2009年4月入学生は、「履修と研究の手引」巻末の[科目・課程登録票]を提出してください。

提出期限：2009年5月8日(金)必着

「履修と研究の手引」の「履修の内容と方法」を熟読し、登録票太枠内の該当個所に○印を付してください。登録科目数に上限はありませんので、余裕をもって登録してください。

※「乳児保育特論」、「保育環境特論」、「児童・家族関係論演習」は、開講しません。

科目終了試験の受験について

2009年7月5日(日)の科目終了試験から受験可能です。7月5日の試験を受験する場合は、5月1日(金)までにレポートを提出してください。

「履修と研究の手引」の「平成21年度手続日程」を参照してください。

レポート課題が2課題とも合格すれば、科目終了試験が受験できます。

※レポート課題が第1課題、または第2課題のいずれかしか合格しなかった場合は試験は受験できません。流れは次ページ「レポート評価について」を参照ください。

科目履修の順序について

特に履修の順序は設けていませんが、修士論文構想発表会で発表するためには、あらかじめ修得しなければならない科目を定めています。「児童研究基礎論」と、各領域が指定する基礎科目の合計2科目です(下表参照)。これらの科目が2010年1月の科目終了試験までに合格していない場合、2010年3月に行う「修士論文構想発表会」の参加資格が得られず、修了が半年遅れてしまいますのでご注意ください。

領 域	基礎科目	備考
児童教育学	児童研究基礎論・児童教育学基礎論	まずはこの2科目からレポートを書き始めて、単位を取るように頑張ってください。
児童発達学	児童研究基礎論・児童発達学基礎論	
保 育 学	児童研究基礎論・保育原理特論	

修了に必要な単位数

修了に際しては、

- ①「必修科目(児童研究基礎論、課題研究)」6単位
- ②「主領域」10単位以上
- ③「他の2領域」と「関連科目」から14単位以上

合計30単位以上の修得が必要です。



児童研究基礎論の課題選択方法

専攻領域	第1課題	第2課題	科目終了試験
児童教育学	児童教育学	児童発達学または保育学	「主領域」1問と「第2課題で選択し、合格した領域」1問の、計2問を受験します。
児童発達学	児童発達学	児童教育学または保育学	
保 育 学	保 育 学	児童教育学または児童発達学	

レポート課題について

「2009年度レポート課題集」は、4月上旬に発売予定です。

また、「2008年度レポート課題集」に記載されている課題については、5月22日(金)必着分まで有効とします。5月23日(土)必着分以降のレポートについては、「2009年度レポート課題集」の課題のみの受理となります。

レポートの提出方法

- レポートは指定用紙を用い、筆記具はボールペンまたは万年筆を使用してください。(ワープロ使用可。ただし用紙のサイズはA4版とし、教員からの指示がない場合は40字×30行としてください。)
- レポートを提出する際は、**レポート送付票を必ず課題ごとに添付し、左肩をホチキスどめしてください。**
- **1課題に対して2つのテーマが課せられている場合は、1つにまとめて提出してください。**
- レポート送付票の「コメント欄」は、教員用です。無記入で送付してください。
- レポート送付票の記入方法、レポート送付方法は、「履修と研究の手引」にて確認してください。

レポート評価について

レポート課題が2課題とも合格すれば、科目終了試験が受験できます。

※レポート課題が第1または第2のいずれかしか合格しなかった場合は以下のような流れになります。

例1 ▶ 今回は第1課題のみ合格、第2課題は未提出または不合格の場合



次回は第2課題のみの提出。レポート第2課題が合格すれば、科目終了試験を受験可能。

例2 ▶ 今回は第2課題のみ合格、第1課題は未提出または不合格の場合



次回は第1課題のみの提出。レポート第1課題が合格すれば、科目終了試験を受験可能。

スクーリング科目について

スクーリング科目の単位修得方法は、以下の手順になります。

- ①スクーリング科目のレポート第1課題に合格する。
- ②「スクーリング申込書」で申込み、「受講許可証」の発行を受ける。
- ③スクーリングを連続した2日間受講する。
(2日間とも受講しないと、単位は取れません。)
- ④スクーリング期間中行う試験や、後日提出するレポートなどに合格する。

※スクーリング科目は、科目終了試験を受験する必要はありません。



エリアスクーリング科目について

一部の科目について、本学サテライトキャンパス（東京都港区三田）においてエリアスクーリングを開講します。これは、松戸キャンパスで行われる通学課程の大学院の授業を、インターネットによるテレビ会議システムを利用してサテライトキャンパスで受講するものです。（一科目につき、毎週1コマ、計15コマの授業を受けていただきます。受講後、出席状況、レポートや授業内試験により評価が決まります。）

エリアスクーリング科目の単位修得方法は、以下の手順になります。

- ①履修登録者に郵送する「エリアスクーリング申込書」で申込み、毎週の授業を受ける。
- ②全授業時間の3分の2以上に出席する。
- ③スクーリング最終日に行う試験や、後日提出するレポートなどに合格する。

※開講科目の詳細については決まり次第お知らせいたします。

※エリアスクーリングで履修する科目については、科目終了試験を受験する必要はありません。

※エリアスクーリングは三田のサテライトキャンパスで受講してください。松戸キャンパスでの受講はできません。

修士論文指導について

指導教員が決まりましたら、構想発表、中間発表、論文提出、口頭試問にむけて指導教員からたくさんのご指導を受けて論文作成を進めてください。

指導教員の先生との面接指導日程を調整するためには、「修士論文面接指導申込書」（「履修と研究の手引」巻末）を提出してください。都合の良い日をいくつかあげていただき、通信教育学務課へ郵送、またはFAXしてください。後日、先生からの返信をお知らせいたします。ただし、申込書を提出される際は、**面接希望日から2週間以上の余裕をもって申し込んでください。**

質問票について

科目の内容、レポートについての質問、修士論文への質問がある場合は「質問票」（「履修と研究の手引」巻末）に質問事項を記入の上、通信教育学務課へ郵送、またはFAXしてください。後日、先生から回答が届き次第、お知らせいたします。

専修免許状の取得について

幼稚園・小学校の一種免許状を取得されている方は、本学で課程登録を行い所定科目の単位を修得すると、修了時に専修免許状を取得できます。また3年以上の実務経験のある方は、在学中に専修免許状を取得することが可能です。

「実務経験による専修免許状の取得方法」について

現在幼稚園もしくは小学校教諭一種免許状を取得し、3年以上実務経験のある現職教員の方は、最低15単位以上を修得すれば、各都道府県の行う教育職員検定により専修免許状を取得できます（個人申請）。

一種免許状 +	在職年数	3年以上	→ 専修免許状
	最低修得単位数	15 単位以上	

「学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)」について(科目等履修生を除く)

従来、学割証の使用目的について「実験実習並び通信による教育を行う学校の面接授業及び試験等の正課の教育活動」のみ使用できるというJRの見解にもとづき、入学式、卒業式、スクーリング、科目終了試験、論文指導となっておりますが、今後は一般学校用の学割証と同様の取扱いとなり、使用目的について制限を設けない。との連絡が来ました。

今後、入学式、卒業式、スクーリング、科目終了試験、論文指導以外の目的で学割証を申込む場合は、使用目的の欄に具体的な目的を記入してください。

なお、必ず余裕をもって(利用日の2週間前までに)申込んでください。

学校心理士の基礎資格について

学校心理士の基礎資格(学校心理士補)受験資格を得るためには「履修と研究の手引」の教育課程で指定された「学校心理士」欄に※のある科目を修得してください。また、学校心理士取得には1年以上の実務経験を要します。***2005年度からはすべての申請者が試験を受けなければならないことになっています。なお本研究科で指定科目の単位を修得し、類型1、類型4、類型5及び学校心理士補で申請する人は、試験の一部が免除されます。(試験Ⅰ〈論述方式〉は受験、試験Ⅱ〈客観テスト方式〉は免除)**

また、2002年度から2006年度までに学校心理士補を取得した方が、資格有効期間内に学校心理士に申請する場合、試験Ⅰ、試験Ⅱともに免除されます。

本学学生は類型1に該当いたします。修了見込みで申込まれる方は修了見込証明書及び単位取得成績証明書が必要となります。なお、見込みで申込まれる場合には3月までに正式な証明書の提出が必要となります。

〈問い合わせ及び申請書類の提出先〉

学会連合資格「学校心理士」認定運営機構事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2-11-7 第1谷口ビル5F

TEL: 03-3818-1554 FAX: 03-3818-1588

E-mail: office@gakkoushinrishi.jp

ホームページ: http://gakkoushinrishi.jp/

FAX、E-mailの利用について

通信教育学務課直通の電話、FAX、及びメールアドレスを設置していますのでご利用ください。質問等ある場合には、FAX、E-mailをご利用ください。

なお教員への直接の質問・連絡などは、各教員の許可がない限りお受けできません。質問票、面接指導申込書を郵便またはFAXで通信教育学務課宛にお送りください。

TEL: 047-365-1200 FAX: 047-331-7422 E-mail: tsuushin@seitoku.ac.jp

提携教育ローンのご案内

正科生を対象に低金利で利用できる、ちば興銀及びオリエントコーポレーションとの提携教育ローンがあります。入学金、授業料、その他学校に納付する費用に利用できます。

希望者にはパンフレットを送付しますので、お電話で通信教育学務課までご連絡ください。

院生室・学内パソコンの利用

クリスタルホール6階に、大学院生室があります。座席の指定はありません。

このうち8601教室の院生室にはパソコンが下記の通り設置されており利用できます。

教室番号	OS	台数	プリンタ	ソフトウェア
8601	Windows2000	10	2	Office2000(インターネットも利用可能)

・Windowsへのログイン方法

ユーザー名8601、パスワードなしでログインできます。

・PC、プリンタの不具合などありましたら、5号館4階情報システム課窓口までお問い合わせください。

2009年9月修了予定学生へ

重要 今後のスケジュールについて

● [修了予定届]、[修士論文正式決定題目届書] の提出

下記の要件を満たす学生は、「履修と研究の手引」巻末の様式に必要事項を記入の上、提出してください。

今後のスケジュール
について



1. 提出要件

- ① 修士論文中間発表会で発表を行っていること。
- ② 2009年3月の科目終了試験までに修士課程修了に必要な30単位のうち、14単位以上を修得、または修得見込みのこと。
- ③ 修士論文に関して、担当指導教員より十分な指導を受け、「論文題目」及び「目次」について了承を受けていること。(論文提出までに、中間発表会で発表後、3回以上の指導を受けていることが必要です。)

2. 提出期限

修士論文正式決定題目届書 2009年5月15日(金) 17:30必着

修了予定届 2009年6月12日(金) 17:30必着

※修了にあたっては、「必修科目」6単位、「主領域」より10単位以上、「他の2領域」と「関連科目」より14単位以上、合計30単位以上を修得してください。

● 修士論文題目の修正

題目修正を希望する場合、下記期日まで [修士論文題目修正届] を受付けます。(用紙は「履修と研究の手引」様式8)

なお修正は1度のみです。

提出期限：2009年6月19日(金) 17:30必着

● 修士論文に関わる今後のスケジュール

① 修了予定届の提出

受付期間：**2008年6月1日(月)～6月12日(金) 17:30必着**(戸籍抄本を添付してください。)

② 修士論文の提出期限

◆ **論文提出** 2009年7月 3日(金) 17:30必着

◆ **論文要旨提出** 2009年7月10日(金) 17:30必着

◆ **提出部数** 論文(資料含む) 3万字以上 3部

論文要旨 4,000字程度 30部

※論文及び要旨は、必ずワープロで作成してください。A4版横書きとし、ともに1ページ40字×30行(1,200字)としてください。

詳細は2009年度「履修と研究の手引」を参照してください。

※論文提出にあたっては、修士論文受理願(「履修と研究の手引」巻末)を同封してください。

③ 修士論文審査・最終試験(予定)

審査日程 2009年8月15日(土) 10:00～17:00

試問時間 1人 約25分(発表10分、質疑応答15分)

④ 修了式(卒業式) 2009年9月中旬～下旬予定

お知らせ

スケジュール

レポート

科目終了試験

スクーリング

実習

